

報道関係者各位
プレスリリース

2026年10月14日
株式会社タカミヤ

タカミヤ、農業の未来市場を共創する総合農業イベント「TAP EXPO 2026」を開催
～農業の構造的課題をIT、AI、ロボティクス、データ活用など異業種との共創で解決～

足場をはじめとする建設業界のプラットフォームとして、業界課題に革新的なソリューションを創造しつづける株式会社タカミヤ（以下タカミヤ、大阪本社：大阪市北区、東京本社：東京都中央区、代表取締役会長兼社長：高宮 一雅）は、自社が運営するアグリビジネス拠点「TAKAMIYA AGRIBUSINESS PARK（以下、TAP）」（埼玉県羽生市）にて、農業の未来市場を共創する実証型イベント「TAP EXPO 2026」を2026年10月29日（木）から31日（土）までの3日間にわたり、開催いたします。

本イベントは、「畑から食卓へ」をテーマに、人手不足や生産コストの上昇など、農業が直面する課題に対し、企業・研究機関・自治体などが持つ技術や知見を結集させ、これからの食と農業をどのように支えていくのかを考えるイベントです。農業が抱える社会課題の解決につながる技術や取り組みを、実際の農場で見て、触れて、体感することで、農業の未来を実証します。

なお、当初は10月29日（木）から11月1日（日）までの4日間での開催を予定していましたが、出展や各種プログラムの内容をより充実させ、来場者により質の高い体験を提供するため、会期を3日間に変更・集約いたしました。関係者の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。



TAP EXPO 2026公式サイト： 来場登録はこちら <https://expo.takamiya-tap.jp/>

■ 担い手減少が進む日本の農業、課題解決に異業種の力を

日本の農業では、担い手の減少や高齢化が進んでいます。農林水産省の統計では、基幹的農業従事者は2020年の136.3万人から、2026年には98.7万人（推定値）となり、平均年齢は67.7歳となっています。*1
こうした課題の解決には、農業分野だけでなく、AIやロボティクス、エネルギー、物流など、異業種が持つ技術やノウハウを農業現場に取り入れ、実用化につなげていくことが重要です。

タカミヤは、本業である建設分野において、人手不足や高齢化、アナログな業務プロセスなどの業界課題に対し、生産性向上に向けた新たな製品・サービスの開発やデジタル化を進めるとともに、パートナー企業とも連携し、建設現場を包括的に支援する「タカミヤプラットフォーム」を展開しています。これにより、個々の現場の課題解決にとどまらず、建設業界の仕組みそのものの変革を目指しています。

この「企業・人・技術をつなぎ、一社では解決が難しい業界課題に取り組む」というプラットフォームの考え方を、農業分野にも展開しています。その中核となるのが、埼玉県羽生市の「TAKAMIYA AGRIBUSINESS PARK（TAP）」です。TAPでは企業、自治体、大学・研究機関などと連携し、AIやロボティクスをはじめとする技術・サービスを、実際の農場で検証することで、農業課題の解決につながる新たな製品・サービスや事業化を進めています。

（出典）*1：農林水産省[「農業労働力に関する統計」](#)

TAKAMIYA AGRIBUSINESS PARK（TAP）のプレスリリースは[こちら](#)

TAKAMIYA AGRIBUSINESS PARK（TAP）の紹介動画のダイジェストは[こちら](#)



■「TAP EXPO 2026」とは：農業の課題と解決策を、実際の農場で体感する3日間

「TAP EXPO 2026」は、約3ha（30,000㎡）の実際の農場を舞台に、農業が抱える課題と、その解決につながる技術・取り組みを見て、触れて、体感できる総合農業イベントです。

企業・自治体・研究機関などによるセッションをはじめ、AIやロボティクスなどの先端技術の展示・実演、農場見学などを実施。展示会場ではなく実際の農場で開催することで、技術が農業現場でどのように活用され、課題解決につながるのかをリアルに体感できることが特徴です。

農業関係者はもちろん、新たな事業領域として農業分野への参入を目指す異業種企業にとっても、現場のニーズの把握や、参入・協業・ビジネスマッチングにつながる機会を提供します。

なお、会場となる「TAKAMIYA AGRIBUSINESS PARK」は通常非公開の施設であり、本イベント限定で最先端の農業現場を特別に公開いたします。

■ 主なプログラム・展示内容

メインコンセプトを「畑から食卓へ」に設定し、生産現場から消費者の食卓に至るまでのプロセスや課題解決の流れを3日間で体感・理解できる構成としています。

【企業・ビジネス関係者向けプログラム】

- **DAY 1：10/29（木）AGRI SUMMIT【語らい】**農林水産省 関東農政局による基調講演のほか、マクニカ、ヤンマーグリーンシステム、タカミヤによるトップ対談を実施します。農業を取り巻く環境変化や生産現場が抱える課題を捉え、異業種の企業がそれぞれの技術や強みを利かして日本の農業にどのように貢献できるのかを議論します。

注目プログラム | 各業界のTOP企業が自社のリソースを活かしてどのように日本の農業に貢献できるのか？

登壇者のご紹介



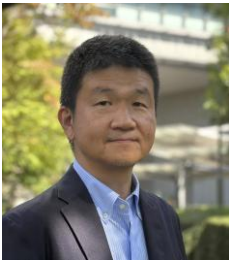
株式会社マクニカ
テクスターカンパニー プレジデント
後藤 正信 氏

ヤンマーグリーンシステム株式会社
代表取締役社長
中井 健二 氏

株式会社タカミヤ
代表取締役会長兼社長
高宮 一雅氏

注目プログラム | 農林水産省 関東農政局による基調講演

「食料・農業をめぐる環境の変化と持続可能な農業生産」



農林水産省 関東農政局 生産部 部長 内田 博文 氏

● DAY 2 : 10/30 (金) IMPLEMENTATION DAY【実装】

「人とテクノロジーが畑と食卓をつなぐ」をテーマに、生産、農場経営、流通など、農業を取り巻くさまざまな課題を、テクノロジーや新たな仕組みでどう解決していくかを考えます。

「農業×テクノロジーの実装最前線」、「大規模農場経営」、「農産物流通革命」、「パラアスリート選手と語る農業の未来」など多角的なセッションを通じて、農業の現場で進む新たな取り組みや技術の可能性を紹介します。

注目プログラム | 大規模農場経営秘話～成長する農場の秘密

農場の大規模化を実現してきた実践者たちが、成長の転機や直面した課題、失敗談を交えながら、データ活用や人材育成、収益を生み出す仕組みづくりなど、持続的な農場経営の秘訣を語ります。

登壇者のご紹介



アイ・エス・ネクスト株式会社	全国農業協同組合連合会
取締役	耕種総合対策部
山本 伊織氏	今村 俊規氏

【登壇者】エンカレッジファーム株式会社 栽培責任者 近藤 文章氏

【MC】FOODBOX 株式会社 代表取締役 中村 圭佑氏

このほかにも、多彩な登壇者によるステージプログラムを予定しています。各プログラムの詳細・登壇者情報は、TAP EXPO 2026公式サイトをご覧ください。

TAP EXPO 2026公式サイト： <https://expo.takamiya-tap.jp/>

■ TAPの名物農場長・農業のリアルを直接聞けるチャンス

TAPの立ち上げ時から携わり、農場の現場を知り尽くす名物農場長・吉田が、開催期間中の3日間、会場に登場します。日々の農場運営で感じる課題や、農業技術の実証にまつわる話など、現場のリアルな声を直接聞ける貴重な機会です。



タカミヤアグリビジネスパーク 農場長 吉田 剛氏

【全日開催：実証デモ・展示エリア】

3日間を通じて、屋内外の実証フィールドにて、農業の省人化・効率化につながるさまざまな技術を、実際の農場で見て、体験できる実証デモ・展示を実施します。収穫ロボットや農業機械の実演・試乗をはじめ、農業現場での活用を想定したさまざまな技術を体験・見学いただけます。

■ 農場ツアー | 実際の農場を巡り、農業技術を間近で見学

約3haの農場を巡りながら、TAPで行われている取り組みを見学します。ツアーでは、きゅうり収穫ロボット実演など、実際の農場で技術が活用される様子をご覧ください。

■ 新規就農者のための補助金相談窓口（補助金ポータル） | 就農・資金調達の相談

就農や農業参入にあたって活用できる補助金制度や資金調達について、補助金・助成金専門ポータルサイト「補助金ポータル」のスタッフに直接ご相談いただけます。（※実施日程等の詳細は決まり次第発表いたします）

■ ハンズフリー電動車いす「Feeling」 | ハウス内での農作業を体験

慶應義塾大学発のハンズフリー電動車いす「Feeling」に乗り、ハウス内での農作業を体験できます。

■ 全自動車両消毒装置「アグリウォッシュ」 | 車両防疫システムを実演

日本仮設株式会社による全自動車両消毒装置「アグリウォッシュ」を実演。農場に出入りする車両を消毒し、タイヤなどに付着した病害虫等を農場内に持ち込むリスクを抑える車両防疫の仕組みをご覧ください。

■ 保湿冷蔵コンテナ「MCS」 | 鮮度保持技術を見学

保湿冷蔵コンテナ「モイスト・クールシステム（MCS）」では、青果物の鮮度保持技術を紹介します。プロットリーを用いた実証実験では、MCSと一般冷蔵庫で78日間保管した後、室温で1日置いた状態を比較し、鮮度保持の違いを確認できます。

■ このほかにも、実際の農場を使ったさまざまな実演・体験・展示を実施

いちご収穫ロボットの実演、ソーラーカーポート「POGERO」の展示などを予定しています。

実演・体験・見学コンテンツ



見て、触れて、学ぶ。さまざまなコンテンツをご用意。



(温湿度)・モイスト・クールシステム : 0℃・95%RH・一般冷蔵庫 : 4℃・65%RH



78日間の実証実験結果比較 : (左) モイスト・クールシステム (右) 一般冷蔵庫

【一般来場者・求職者・ファミリー向けプログラム】

DAY 3 : 10/31 (土) FARM & FAMILY HALLOWEEN【祭】

最終日は、農業をより身近に感じてもらうため、若者や社会人、地域住民、ファミリーなど幅広い来場者が楽しめるプログラムを展開します。

注目プログラムは、「農業就活最前線！農業を志す若者たち」。農業にチャレンジしたい若者や、農業関連企業への就職・転職に関心を持つ社会人を対象に、農業を「仕事」という視点から考え、農業分野で働く可能性に触れる機会を提供します。

また、地元産品が並ぶマルシェやキッチンカーの出店、名探偵プリキュア！ショー、地元の「羽生太鼓 みやび」による演奏、ハロウィンキッズファッションショーなども実施します。



■ 開催概要

- イベント名 : TAP EXPO 2026
- 日時 : 2026年10月29日 (木)~10月31日 (土) 10:00~16:00 (※最終日は15:00まで)
- 会場 : TAKAMIYA AGRIBUSINESS PARK (TAP)
 - 所在地 : 埼玉県羽生市大字日野手新田字清右エ門130-1
 - 交通アクセス :
 - 電車 : 東武伊勢崎線・秩父鉄道「羽生駅」より直通送迎バスを運行
 - お車 : 東北自動車道「羽生IC」より約10分 (「羽生水郷公園内 臨時駐車場」利用可能)
- 入場料 : 無料 (※一部事前登録制)
- 主催 : 株式会社タカミヤ
- 後援 : 埼玉県 / 羽生市
- 公式Webサイト :
 - 企業向けサイト : <https://expo.takamiya-tap.jp/>
 - 一般来場者サイト : <https://expo.takamiya-tap.jp/visitor>

■ 株式会社タカミヤについて

建設現場の仮設機材を中心に、住宅用機材、構造機材、農業用ハウス、防災用ダムなど多彩な製品について、開発・製造から、販売、レンタル、設計、施工までトータルにサービスを提供しています。「現場」の安全性・施工性向上を軸に、近年では各業界の深刻な人手不足やコスト高を解決するデジタルソリューションを推進。建設分野の「タカミヤプラットフォーム」に加え、農業分野では、担い手の減少や高齢化などの課題に対し“農業版シリコンバレー”を目指す共創プラットフォーム「TAKAMIYA AGRIBUSINESS PARK (TAP)」を設立・推進しています。企業・人・技術をつなぎ、新たな事業や技術を生み出すこの枠組みのもと、農地・施工マッチングサービス「[MEGADERU](#)」などを展開。産業の枠を超えた構造的課題の解決に取り組んでいます。

社名 : 株式会社タカミヤ

代表 : 高宮 一雅

本社所在地 : 大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 タワーB 27階

: 東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング12階

URL : <https://corp.takamiya.co/>

設立 : 1969年6月21日

資本金 : 10億 5,214万円

従業員数 : 758名（連結従業員数 1,361名）

事業内容 : 建設、農業のプラットフォーム事業運営、仮設機材の開発、製造、販売及びレンタル、仮設工事の計画、設計、施工 ならびに建設現場の課題解決に向けたプラットフォームサービスの提供

【本件に関する問い合わせ先】

タカミヤ広報事務局：シェイプウィン株式会社（担当：齊木、江原、勝山）

03-6427-2298 press-takamiya@shapewin.co.jp